

ゲムシタビン・シスプラチン療法を受けられる方へ

科 ID: 様

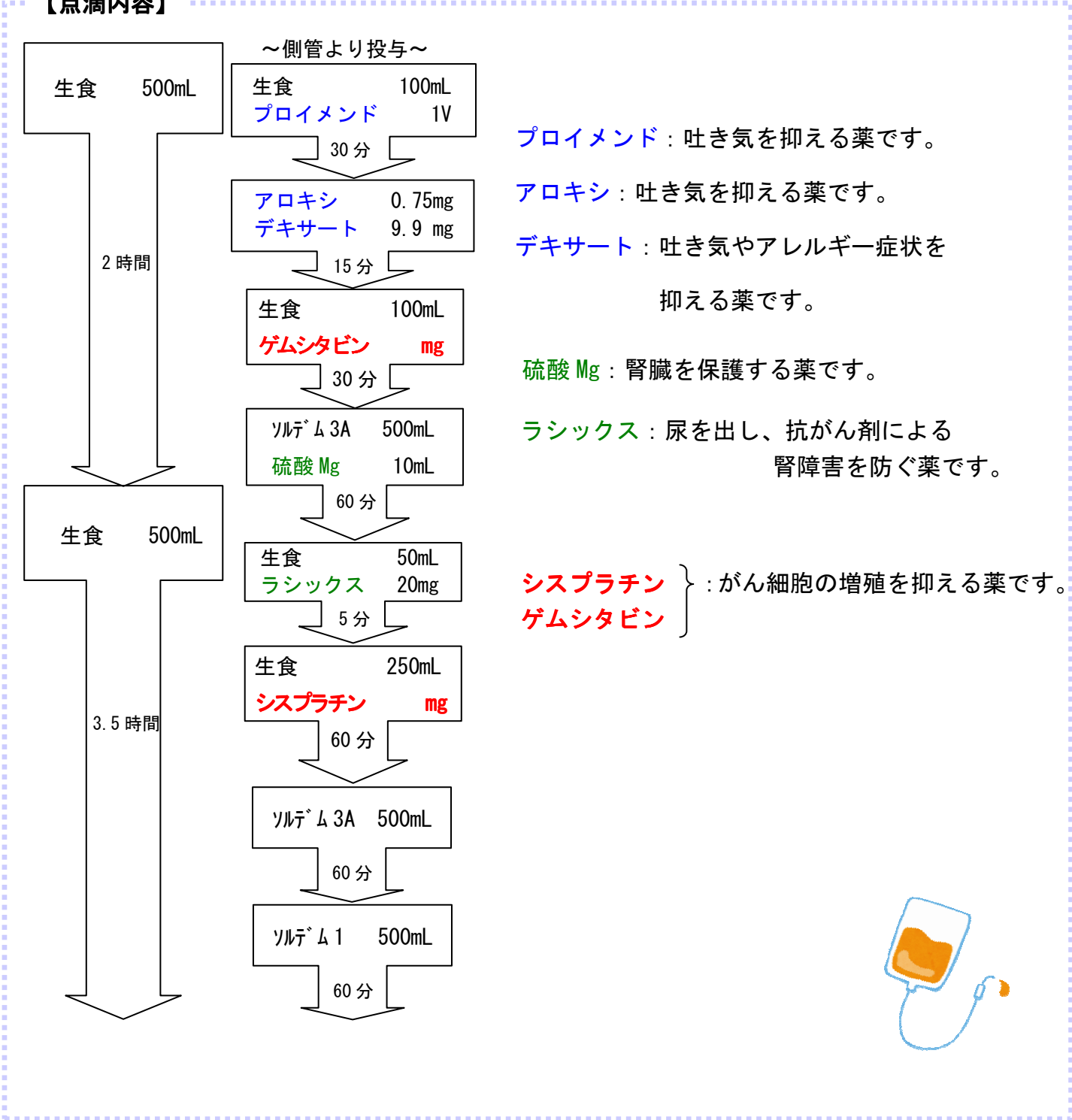


【投与スケジュール】

	1 日目	2-7 日目	8 日目	9-21 日目
ゲムシタビン	●		●	
シスプラチン	●		●	

☆ 3 週間毎に繰り返し行います。
☆ 検査の結果で投与スケジュールや投与量が変更になることがあります。

【点滴内容】



【主な副作用と対策】

アナフィラキシー様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

白血球減少：投与後 7～14 日頃に最も減少するといわれています。
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、
うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後 7～21 日頃に最も減少するといわれています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振、悪心・嘔吐：投与後～2-3 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますので辛い時は申し出てください。また食事にはおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ摂取するようにしましょう。



脱毛：投与後 2～3 週間経つと抜け始めます。(10%程度)
治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。

便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。
下剤や便を軟らかくする薬も使います。

下痢：下痢をしている間は脱水にならないように水分を摂取しましょう。

難聴・耳鳴り：高音域の声や音が聞こえにくかったり、耳鳴りがすることがあります。
悪化していくようでしたらお知らせください。



しゃっくり：しゃっくりが出ることがあります。
ひどく続いて辛いときにはお薬を使うこともありますので、相談してください。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じる場合があります。
治療が終了すれば徐々に治ります。



疲労感・全身倦怠感：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。

眠気・傾眠：急に眠くなることがあります。車の運転など注意しましょう。

発疹：皮膚が赤くなったり、痒みが出ることがあります。
ひどい場合にはお知らせください。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

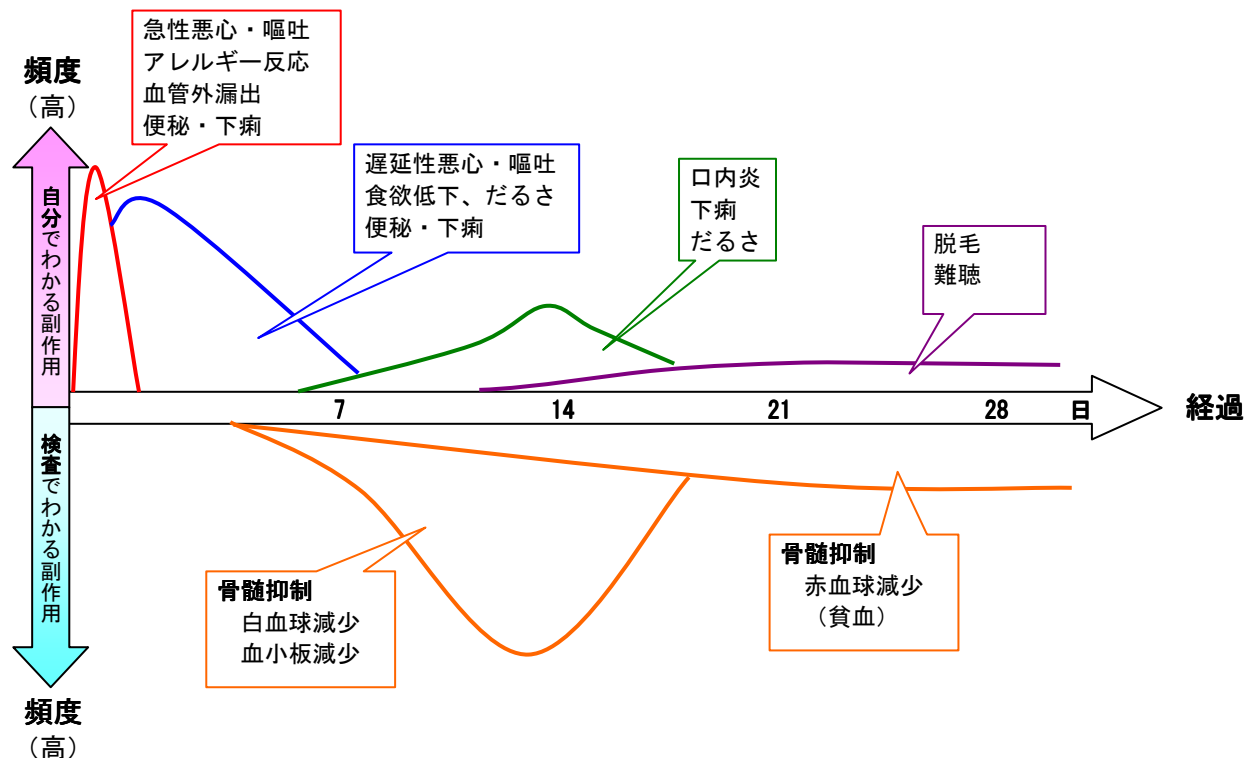
間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。
咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



★点滴をした翌日・翌々日には水分（水・白湯・お茶など）を
1日1L以上摂りましょう。



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【内服薬について】

*** この治療を受けられる方には、副作用対策(吐き気止め)として内服薬が処方されます。**

□ **デカドロン錠 4mg** : 1日2回 1回1錠 朝・昼食後 点滴した翌日から3日間内服
吐き気止めです。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

